

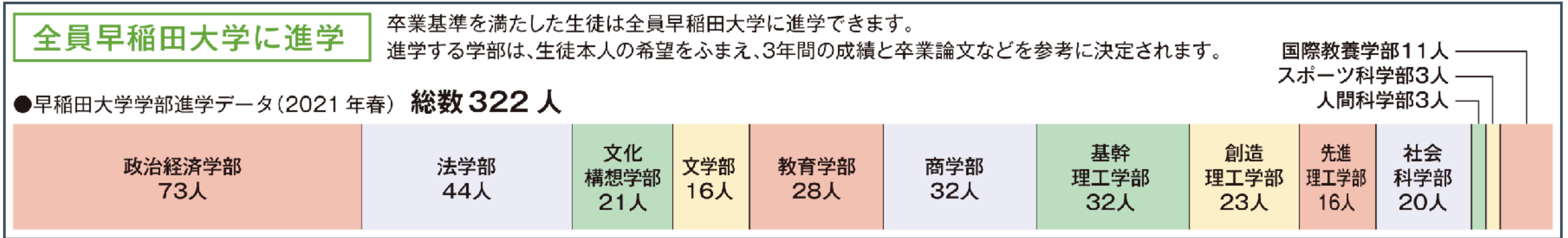
INFORMATICS

進路選択のための情報収集のコツ

杉本海里 | kairi.for@gmail.com

PCの電源を付けてください。

「Google Chrome」を開いてください。



- ▶ 極めていびつなデータ。「偏差値／人気度／有名度」を基準に学部進学を考えてしまっている。
→早稲田と言えば政経が一番有名だから政経にいこうかな。
→政経が毎年人気だから、きっと政経はいい学部なんだな。
→せっかく成績が良いから、偏差値の低い社会科学部に行くのはもったいない。

▶ 「偏差値／人気度／有名度」よりも「自分との相性」のほうが、
圧っっっっ倒的に重要です。



「なんとなく政経に行こうかな…。親も安心してるし。」
「文学部って文学やるんでしょ？興味ないな。」
「人間科学部は所沢だから、とりあえず選択肢から外そう！」

- ▶ これらはすべて、情報収集を放棄したために生じる誤った発想です。
もしあなたがこのように思っているなら、ちゃんと進路を調べられていない証拠です。
これでは自分にとって最適な学部は選べません。
- ▶ **じっくり情報収集をして、自分がやりたいことを見つけてください。**
大学生活4年間を充実させ、その後の人生を豊かにするための「最大&唯一」のコツです。
貴重で大切な4年間を、リサーチ不足のせいでゴミクズにしないように心から願っています。

- ▶ 高校で学ぶことと大学で学ぶことは全然違います。
早本で教員から与えられる試験や課題に「受け身の姿勢」で取り組むだけでは、自分がどの学部学科に合っているかは絶対に分かりません。
- ▶ 高校で学ぶ内容が「1」だとしたら、大学で学べることは「1000」くらいあります。
どんなことを学べるかは、ネットなどで自分で調べて知る必要があります。



じゃあ何を調べればいいのか？ → 「教授」と「授業シラバス」

教授を調べよう

大学1年	大学2年	大学3年	大学4年
基礎(講義)	専門(講義)	ゼミや研究室で、指導教諭のもとで研究	

- ▶ 大学では、自分のことを担当してほしい教授を1人選びます。
その教授が自分の指導教諭となり、学問の方法を教えてください。
- ▶ 大学は、教授の指導のもとで「学問をする（＝研究する）」場所であって、高校のように座学を受けて「勉強する」場所ではありません。
- ▶ 「大学で学べること＝教授の研究テーマ」ですので、教授について情報収集をして、どの教授のところに行きたいかを高校生の段階である程度決める必要があります。
- ▶ 教授を調べれば、大学でどんなことを学べるのかがなんとなく分かりますし、どの学部学科を選ぶのが良いかも判断できるようになります。

1. 色々な学部学科のウェブサイト&パンフレットなどを読み漁り、自分の興味がありそうな研究をしている教授をリストアップする。
2. その教授のウェブサイトなどを訪問し、さらに絞り込む。
3. 「早稲田大学研究者データベース」を開き、その教授のページを見て、「研究活動」や「教育活動」の欄を見る。
特に「教育活動」欄に書かれている担当科目のシラバスは重要。
4. 最終的な目標は、「指導を受けたい教授を決めること」。
どうしても決まらない場合でも、学部学科への理解を深められれば良い。

※（オンライン期間の場合）ここから先は動画を見ながら実際に手を動かしてください※

生物・環境系						
 <p>赤沼 哲史 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 生命の起源、タンパク質工学● 環境微生物学、環境生命化学実習	 <p>太田 俊二 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 地球環境科学、生物圏生態学● 地球生態系科学、環境シミュレーション実習	 <p>柏 雅之 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 環境経済学、地域政策論、持続型地域再生論● 地域資源論、環境経済学	 <p>松本 淳 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 環境学、大気化学● 環境化学、大気環境計測論	 <p>山田 和芳 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 地球環境史学、自然地理学● 基礎地理学、世界地誌学	 <p>横沢 正幸 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 生態系モデリング● 基礎生態学、農業気象学	 <p>風間 健太郎 准教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 動物生態学、保全生態学、生物地球化学● 動物生態学、基礎生態学
社会系						
 <p>平塚 基志 准教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 森林環境科学● ヒトと陸上生態系、森林科学野外実習	 <p>佐野 雅規 講師</p> <ul style="list-style-type: none">● 古気候学、年輪年代学● データリテラシー、スタディスキル、学生生活とセルフマネジメント	 <p>浅川 達人 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 都市社会学、社会調査● 社会学、都市社会学	 <p>池岡 義孝 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 社会学、家族研究● 家族社会学、ライフコース論	 <p>井上 真 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 環境社会学、森林ガバナンス論、東南アジア地域研究● 環境社会学、アジア地域研究	 <p>武田 尚子 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 人口社会学、地域社会学、質的調査方法● 人口学	 <p>橋本 健二 教授</p> <ul style="list-style-type: none">● 社会学、階級論、労働社会学● 階級・階層論、労働社会学

早稲田大学人間科学部、パンフレット、<https://www.waseda.jp/fhum/hum/applicants/guidebook/>

学部学科HPやパンフレットなどを見て、教授をリストアップする

教授のHPなどを見ると研究紹介が書かれている。
それを読んで教授をさらに絞り込む。

完璧な内容理解は不可能、なんとなくで大丈夫。
フィーリング（肌感覚）で絞ろう。

→右図は赤沼哲史教授のHP

極限環境生命科学研究室

早稲田大学 人間科学学術院



HOME 教員 メンバー 研究内容 キーワード 論文・著書 English

極限環境生命科学研究室

この研究室では、人類から微生物まで全生物共通のルーツを探るための生命の起源と初期進化、および、当時の地球環境に関する研究と、生物機能を利用した環境や資源の問題の解決と、持続可能な人間社会の構築に貢献するために、環境に優しい生体触媒である酵素の改変、および、極限環境微生物が持つタンパク質を材料としたタンパク質工学の研究をおこなっています。

Principle Investigator

赤沼 哲史 (Satoshi Akanuma)
早稲田大学 人間科学学術院 教授
博士（理学）

連絡先

〒359-1192
埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15 早稲田大学所沢キャンパス
100号館5階 530号室（研究室）、596号室（実験室）
Tel, 04-2947-6727（内線 76-3530）または04-2947-6811（内線76-3596）
E-mail: akanuma @ waseda.jp（@前後のスペースを削除してください）

早稲田大学研究者データベースには、
全教授の研究活動や教育活動が掲載されている。

なんとなくで大丈夫なので、
自分と合いそうかどうかを判断しよう。

<https://w-rdb.waseda.jp/search?m=home&l=ja>

研究者データベースは
ここをクリック

The screenshot shows the profile page for Professor Acanuma Satoshi (アカヌマ サトシ) on the Waseda University Researcher Database. The page is titled "早稲田大学 研究者データベース" (Waseda University Researcher Database). The profile information includes: Name (氏名): 赤沼 哲史 (Akazuma Satoshi), Title (職名): 教授 (Professor), and Department (所属): (人間科学部) (Department of Human Sciences). The page has three tabs: "基本情報" (Basic Information), "研究活動" (Research Activities), and "教育活動" (Educational Activities). The "基本情報" tab is selected, showing contact information (連絡先) with email (akanuma@waseda.jp) and a website URL (http://www.f.waseda.jp/akanuma/index.html), as well as a researcher ID (10321720). Below this, it lists other affiliations (本属以外の学内所属) and current positions (兼任) at the Faculty of Human Sciences and the Graduate School of Human Sciences. The "学歴・学位" (Education and Degrees) section lists his academic background: Bachelor's degree from Tokyo Institute of Technology (1989-1993), Master's degree from the Graduate School of Tokyo Institute of Technology (1993-1995), and Doctoral degree from the Graduate School of Tokyo Institute of Technology (1995-1998).

★重要★

研究者データベースの、「現在担当している科目」欄の、科目名をクリックするとシラバスを見れる。

シラバスとは、その科目でどんなことが学べるのかをまとめた資料のこと。

研究内容や大学での勉強を理解するのに、非常にオススメ！

現在担当している科目

科目名	開講学部・研究科	開講年度	学期
基礎ゼミⅠ 13	人間科学部	2020	春学期
基礎ゼミⅠ 14	人間科学部	2020	春学期
人間環境科学概論	人間科学部	2020	春クォーター
環境生命化学実習	人間科学部	2020	冬クォーター
環境微生物学	人間科学部	2020	春学期
専門ゼミⅠ(極限環境生命科学)	人間科学部	2020	春学期
専門ゼミⅡ(極限環境生命科学)	人間科学部	2020	秋学期
人間環境科学概論	人間科学部(通信教育課程)	2020	秋クォーター
人間環境科学概論	人間科学部(通信教育課程)	2021	秋クォーター
環境微生物学	人間科学部(通信教育課程)	2020	秋学期
環境微生物学	人間科学部(通信教育課程)	2021	秋学期
極限環境生命科学研究指導 A	大学院人間科学研究科	2020	春学期
極限環境生命科学研究指導 B	大学院人間科学研究科	2020	秋学期
極限環境生命科学ゼミ(1) A	大学院人間科学研究科	2020	春学期
極限環境生命科学ゼミ(1) B	大学院人間科学研究科	2020	秋学期
極限環境生命科学ゼミ(1) C	大学院人間科学研究科	2020	春学期
極限環境生命科学ゼミ(1) D	大学院人間科学研究科	2020	秋学期
極限環境生命科学ゼミ(2) A	大学院人間科学研究科	2020	春学期
極限環境生命科学ゼミ(2) B	大学院人間科学研究科	2020	秋学期
極限環境生命科学ゼミ(2) C	大学院人間科学研究科	2020	春学期
極限環境生命科学ゼミ(2) D	大学院人間科学研究科	2020	秋学期
環境生物学実習	大学院人間科学研究科	2020	集中講義(秋学期)
極限環境生物学特論	大学院人間科学研究科	2020	秋クォーター
極限環境生命科学研究指導(D) A	大学院人間科学研究科	2020	春学期
極限環境生命科学研究指導(D) B	大学院人間科学研究科	2020	秋学期

【例】

赤沼教授が担当している科目の「環境微生物学」のシラバス情報。

概要と各授業回別の授業内容がまとまっているため、分野のイメージを掴むのに最適。

シラバス情報		最終更新日時：2020/02/28 10:24:18
授業概要	この科目では、人間が暮らす環境と微生物の関係について、微生物が環境中で果たす役割と、人間生活における微生物の寄与について講義する。まず、身の回りや地球上の様々な環境中に生息する微生物を紹介し、医療、環境保全、食、健康と微生物の関わりを紹介する。次いで、微生物研究から明らかになった人間を含む生物一般の遺伝の仕組みを概説する。また、微生物がおこなう呼吸と光合成によって、地球に生物が誕生した40億年前から現在に至る間に、どのように地球環境が変化し、反対に、地球環境の変化が人類の誕生に至る生物の進化に与えた影響についても議論する。さらに、生命が生存するための環境条件について、地球規模および宇宙規模で考察する。最後の3回は発展的な内容となるが、環境中の微生物の分析方法を簡単に説明する。以上の内容を通じて、生物と環境の過去と現在を理解し、人類が地球上で長く繁栄可能な未来の構築へ向けて、今、私たちが何を考え、何をすべきかをひとりひとりが考えるきっかけとする。	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間社会と微生物の関わりを述べることができる。 ・ 人類をはじめ多様な生き物が暮らす環境づくりに微生物がどのように貢献している（してきた）かを理解する。 ・ 呼吸（発酵を含む）と光合成について説明できる。 ・ 環境中の微生物解析法の基礎を理解する。 	
事前・事後学習の内容	各回の授業配信期間中に、講義内容を振り返り復習することを求めます。各回の復習には90～120分かかると想定されます。さらに、各回の授業配信期間中にBBS内で指示する課題について、BBS内での議論に参加することも求めます。	
授業計画	<p>1: 第1回 オリエンテーション（講義の目的と概要） / 微生物を学ぶ意義について説明します。</p> <p>2: 第2回 生物と微生物の分類 / 微生物の種類と特徴、および、様々な微生物の分類法を紹介します。</p> <p>3: 第3回 身の回りの微生物と極限環境の微生物、微生物細胞の構造 / 様々な微生物を紹介し、次いで、微生物細胞の構造と機能を説明します。</p> <p>4: 第4回 人間社会における微生物の関わり / 医療と環境保全を例に、人間と微生物との関わりについて講義します。</p> <p>5: 第5回 食と微生物 / 飲食物の製造過程における微生物の利用について説明します。特に、発酵と腐敗、遺伝子組換え食品について解説します。</p> <p>6: 第6回 微生物の代謝と環境に果たす役割 / 微生物の代謝、呼吸、光合成について説明します。さらに、微生物による環境中の物質循環についても講義します。</p> <p>7: 第7回 人間が生きる仕組みを理解するための微生物 / 微生物は人間を含む生物一般を理解するためのモデル生物でもあります。微生物の研究を通じて明らかになった人間が生きる仕組み、遺伝の仕組みを説明します。</p> <p>8: 第8回 環境が生命活動に与える影響 / 環境が生命活動に与える影響について、環境要因と遺伝的要因に分けて説明します。さらに、突然変異と進化の仕組みについても解説します。</p>	

授業シラバスを調べよう (文系用)

早稲田のシラバス検索システムでは、大学の全科目の学習内容を見れます

WASEDA University

シラバス検索

シラバス検索

検索条件を指定して[検索]ボタンを押してください。
学部により指定可能な検索条件が異なります。
学部を指定すると、追加で指定可能な検索条件が表示されます。

キーワード	<input type="text"/> * キーワードにはコース・コードを指定して検索することができます
分野コード	大分類を絞ってください ■早稲田大学分野コード表 ■コース・ナンバリング制度について
レベル	<input type="text"/>
科目名	<input type="text"/> * 科目名の一部を指定しての検索が可能です（※前後方一致） 例：経済
教員名	<input type="text"/> * 教員名の一部を指定しての検索が可能です（※前後方一致）
学期	<input type="text"/>
曜日	<input type="text"/> * 無：集中講義、オンデマンド授業のような実施曜日を指定できない科目を検索 * 空白：実施曜日にかかわらず科目を検索
時限	<input type="text"/>
授業で使用する言語	<input type="text"/>
授業方法区分	<input type="checkbox"/> 対面 <input type="checkbox"/> ハイブリッド（対面/オンライン併用） <input type="checkbox"/> フルオンデマンド（曜日時限なし） <input type="checkbox"/> オンデマンド（曜日時限あり） <input type="checkbox"/> リアルタイム配信 ■授業方法区分について
オープン科目	<input type="checkbox"/> * 全学オープン科目とは、専攻分野にとらわれず、どの学部にも所属する学生でも履修できる全学共通の科目です
学部	<input type="text"/>

検索 検索条件クリア 過年度シラバス検索へ

シラバス検索は
ここをクリック

1. 科目内容を調べたい学部を選択する。
2. その下に追加絞り込み要素が出てくる場合は、それも設定する（でてこない学部もある）。
3. レベル設定で「中級レベル」を選択する。
4. 授業で使用する言語で「日本語」を選択する。
※国際教養学部の場合は設定不要。
5. 検索ボタンを押して表示される科目のうち、興味がありそうなものを片っ端から見っていく。

オープン科目 *全学オープン科目とは、専攻分野↓

学部 文構

科目管理主体 ✓

- 00_共通
- 01_仏語
- 02_独語
- 03_露語
- 04_中語
- 05_西語
- 06_伊語
- 07_朝語
- 09_アラ語
- 11_英語
- 15_英語
- 16_英語
- 17_英語
- 18_英語
- 51_多元
- 52_複合

rsity 2006-2021.All right

授業シラバスを調べよう (理系用)

1. 理系の学科の必修科目は、WEB上に公開されている。
その科目のシラバスを読むと、学科をととてもよく理解できる。
2. まずは、下記手順で学部要項を入手しよう。
「早稲田大学理工学術院ホームページ」
→ 「在学生の方へ」
→ 「要項・シラバス」
→ 「20XX年度の希望学部の学部要項PDF」のデータを開く
3. その中の、希望学科のページを開き、第2年度の「専門必修科目」を確認する。
その科目名をシラバス検索すると、学科でどんなことを学べるのかが分かる。

【理系シラバス】 学科必修科目をシラバス検索しよう（2）

The screenshot shows the website for the Faculty of Science and Engineering at Waseda University. The main navigation menu includes: ニュース (News), 理工学術院について (About the Faculty), 学部入試 (Admissions for Undergraduate Schools), 大学院入試 (Admissions for Graduate Schools), 在学生の方へ (For Current Students), 企業の方へ (For Researchers), and 卒業生の方へ (For Alumni). The 'For Current Students' menu is expanded, showing options like 日程・行事 (Calendar/Events), 要項・シラバス (Syllabus), 授業 (Classes), 科目登録 (Subject Registration), 試験・成績・教職 (Exams/Grades/Teaching), 学位論文 (Thesis), 学費・奨学金 (Tuition/Scholarship), and 留学 (Study Abroad). The '要項・シラバス' item is highlighted with a red box, and a red arrow points to it from the text 'ここをクリック' below.

ここをクリック

学部要項・研究科要項

※要項は自身の入学年度の学習要項の内容が適用されます。

※在学生の方は、最新の情報を必ずホームページや掲示板、学科ガイダンス等で確認してください。

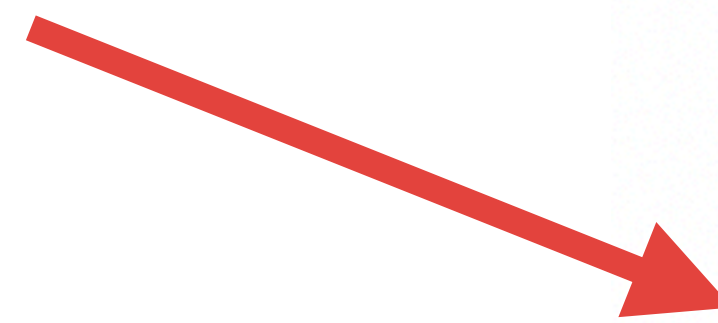
※学部「先取り履修」で取得した単位の、教員免許（専修）「教科に関する科目」への認定に関して

年度	学部要項	研究科要項
2021年 度	基幹理工学部 PDF	基幹理工学研究科 PDF
	創造理工学部 PDF	創造理工学研究科 PDF
	先進理工学部 PDF	先進理工学研究科 PDF

調べたい学科がある
学部を選ぶ



学部要項の目次を確認し、
各学科のC群科目（＝専門科目）が
書かれているページを見る。



Ⅲ	基幹理工学部要項	11
1	単位制	11
2	学位・卒業	11
3	進級制度	11
4	理工学術院内 転部・転科試験	12
5	学費の納入と抹籍	12
6	学科目の系列	14
7	複合領域科目, 外国語科目 (A 群科目)	23
8	数学, 自然科学, 実験・実習・制作, 情報関連科目 (B 群科目)	40
9	専門教育科目 基幹共通科目 (C 群科目)	45
10	学科別 C 群科目配当表および学修案内	47
	数学科	47
	応用数理学科	51
	機械科学・航空宇宙学科	55
	電子物理システム学科	59
	情報理工学科	63
	情報通信学科	68
	表現工学科	73

① 専門必修科目であることを確認

(I) 専門必修科目

② 第2年度の部分に丸がついている科目をチェックする。

③ 第2年度に丸がついている科目名をシラバス検索で調べてみよう。

数学科 専門教育科目配当表

学 科 目 名	単 位 数	開 講 学 期							
		第1年度		第2年度		第3年度		第4年度	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
代数学序論	4			○	○				
代数学A	4			○	○				
ベクトル空間と幾何	4			○	○				
多変数解析	4			○	○				
解析学入門	4			○	○				
位相入門	2			○					
現代数学演習	2				○				
関数論A	2				○				
数学講究A	2								○
数学講究B	2								○

- ▶ 感想
- ▶ わかりにくかった点
- ▶ もっと知りたいこと

ここをクリックしてください (Googleフォーム)

<https://forms.gle/oD6SCa2PWaDcKhu2A>